

こんにちは

日本共産党品川区議会議員

鈴木ひろ子 です



鈴木ひろ子事務所 中延2-11-7 TEL3783-8833
日本共産党区議団控え室 TEL5742-6818

このニュースについてのご意見、ご要望をお寄せください。



1154人が入れない

保育園つくって！

予算委員会の総括質問で取り上げました



保育園入園結果

申請者：3060人（一次・二次）
内定：1842人

1154人が入れない
(38%)

4月受入れ枠拡大数

全体：370人
0～2歳児：188人
3歳以上：182人

入れなかった人の内訳

全体：1154人
0～2歳：1029人
3歳以上：125人

予算総括質問で使ったパネル2枚

3月17日、私・鈴木は共産党区議団を代表して、予算委員会の総括質疑で「一人の待機児も出さないために認可保育園大幅増設を」と質問。ママたちの思いを胸に、区に厳しく迫りました。担当部長は「重く受け止めている。これからも取り組んでいきたい」と答弁しました。

- 0～2歳児の場合：188人分。
- 4月の受入れ枠拡大は、1029人が入れない

(写真:パネル参照)

区は、「27年度709人分を拡大」と発表。しかし内実は、4月拡大数は半分の370人分。しかもそのうち0～2歳児枠は188人分にすぎません。申請者3060人（一次と二次の合計）中9割近くが0～2歳児です。結果0～2歳児1029人も入れない事態となりました。3歳

以上の合計では、1154人(38%)が入れないという、過去最悪の事態となりました。

ママたちの声を紹介

私は、相談を受けたり、懇談会でママたちから訴えられた声を紹介しました。

★育休明けで4月復帰。保育ママも含めて6園申請したが全滅。認証保育園もすべて断られ、認可外保育園しかない。保育料は月7万円もかかるのにお弁当持ち。体制も悪い。いやならがんばってきた仕事を辞めるしかない。こんなことで人生が狂わさ

れているのか。
★保育は品川がいいと聞いて他区から転居してきたのに、入れなかった。ローンを組んで家も購入したので働かないわけにはいかないのに、一体どうしたらいいのか。
★非常勤で産休も育休も取れず、仕事を辞めざるを得なかった。4月からやっと内定をとったが、保育園に入れないれば取り消されてしまう。仕事をしなければ生活が苦しい。
★事業所型保育ママは2歳児までしか入れられない。今年転園できず、来年3歳で入れる保証がないので、不安でたまらない。



荏原中延駅前では新婦人の皆さんと保育園増設署名

「などなど本当に切実な実態ばかり。二次も入れなかった1154人の人はどうしたらいいのか、どんな選択肢があると考えているのか」と迫りました。

区長は「待機児ゼロ」の公約を守れ

濱野区長は10月の区長選で「待機児ゼロ」を掲げました。10月には昨年を300名も上回

る申請があり、深刻な事態になることはわかっていました。にもかかわらず、まともな対策をとらなかったのです。責任は重大です。私は、「この公約に責任を持つという思いはないのか」と区長に質問しましたが、答弁できませんでした。こども未来事業部長は「重く受け止めている。これからも取り組んでいきたい」と答弁しました。



区にはお金も土地もある。区長の決断一ツ

認可保育園1000人規模の建設費は2億5000万円。運営費は2億円です。昨年11月決算で区の基金は777億円。さらに新年度予算で福祉に使うべき消費税増収分だけでも25億円、その他も合わせて48億円も増収なのです。お金はたっぷりあります。土地は、塩漬けになっ

ている開発タネ地、荏原四中、旧一日野小跡地などの区有地、その他活用可能な都有地、国有地が5万6千㎡もあります。あとは、区長の決断ひとつです。(私の総括質問はネットで公開。品川区議会のホームページを)

「4月一人の待機児も出さない緊急対策を」の請願否決

区はよくやっていると自公・民・無が反対して区民の願いに背を向けました。ママたちの思いをどう考えているのかと許せない思いです。これからも「待機児ゼロへ」声をあげていきましょう。

無料
法律・生活相談会
3月23日(月)
 午後6:00~
鈴木ひろ子事務所
 中延2-11-7 3783-8833
 弁護士さんが対応します。